

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [三豊市立曾保小学校] 担当教諭名 [石川 英司] (全校児童 18名)

相手国・地域 [ネパール]

海外学校名 [Shree Panchakanya Secondary School] 担当教諭名 [廣瀬 瞳美(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合(生活科)	「曾保」を発信しよう	9
	図工	壁画に取り組もう	4

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	大切にしたい「自然」
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	当たり前と感じている「自然」が、いかにめぐまれた環境にあるのかを認識し、それを誇りに思い合おう



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
1対1のペアを作り、自己紹介カード、ビデオも「その相手に」という意識で取り組めるよう配慮した。強い相手意識をもち、互いに名前呼びかけ合う交流がスカイプでも見られた。	交流を図ることができ、壁画制作も細やかな擦り合わせによって行えたが、「自然(環境)」という切り口での共同学習という点では不十分であった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
ネパールを、自分のペアが住む特別な国という認識が形成された。	いわゆる「国際理解教育」について、「調べ→発表」という多くの学校で見られるものでは、そのねらいに到達できない。具体的な「相手」とのやりとりが不可欠である。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	自己紹介カードの作成	1対1のペアリングにより、相手を意識したカードを意欲的に作成したり、送られてきたカードを熱心に読み取ったりすることができた。	総合 (生活)
共有 テーマ学習	10月 11月	学校紹介ビデオの作成 「曾保(地域自慢)」撮影、メッセージカード作成	自分たちの学校や地域の良さを改めて見直す、見つけることができた。	総合 (生活)
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	壁画のデザインの作成	各自が壁画のデザインを作成することにより、一人ひとりの思いを込めた最終デザイン案を作成することができた。	図工
創造 壁画制作	12月	壁画の作成 壁画リーダーを募って、下絵を描いた。 各学年で分担して色を塗っていった。	自分のデザインが取り入れられており、意欲的且つ丁寧に作業に取り組めた。	図工
評価 振り返り 自己評価	3月	交流振り返り	ネパールを、名前で呼び合える相手の住む、特別な国であるとの思いをもった。	総合 (生活)

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	自己紹介カードと「曾保自慢」の写真、メッセージ
異文化を理解する力	5	スカイプ 「これがほしい」と答えたものから「価値観」を享受したと思えたから。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	ネパールについての調べ学習
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	スカイプ 質問したり答えたりする内容を、既習事項を生かしたものにすることによって。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	批判的な思考のもととなるべき活動、そういった思考を必要とする活動の場面を設定できたとは言えない。
主体的に考え行動する力	4	プロジェクトチーム内での活動 特に高学年児童がリーダーシップを発揮していたところ。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	プロジェクトチーム内での活動 相手の発表内容に呼応していたところ。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	自己紹介カードと「曾保自慢」の写真、メッセージ
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	作品の相手国パートについての感想